



まちの絆 きずな

岡崎市では親善都市・ゆかりのまちとの交流を進めています。
このパンフレットでは親善都市・ゆかりのまちとの絆や魅力をご紹介します。



親善都市・ゆかりのまちとの提携の経緯

石垣市

石垣市は、沖縄本島から400km余り南方に位置し、10の有人島からなる八重山諸島の政治、経済、交通、運輸の中心となっている、わが国最南西端の市です。

戦時中、石垣市大浜地区の海軍基地に駐在した岡崎出身者で作られた「八重桜会」が、当時兵舎に使った大浜小学校へ贈り物をしたことが縁で岡崎出身者の母校である奥殿小学校と姉妹校となって交流が始まり、その後に交流が発展して、昭和44年2月19日、親善都市提携の調印が行われました。



福山市は、広島県の東南端に位置する広島県内2番目の都市です。平成10年4月に中核市に移行し、人口50万都市にふさわしい都市機能の整備に取り組んでいます。

福山市

岡崎市の市議会議員が福山市へ行政視察に出かけた際に、市制施行日が同じ大正5年7月1日であることや戦災復興都市であること、また徳川家康公と福山城主水野勝成公が従兄弟であることなど共通点が多いことから、昭和46年11月9日、親善都市提携の調印が行われました。

茅ヶ崎市

茅ヶ崎市は、神奈川県中南部に位置し、湘南の中核都市として発展を続けています。平成15年4月には特例市に移行しました。

名奉行として有名な大岡越前守忠相公の曾祖父が徳川家康公から相模国高座郡堤村(茅ヶ崎市堤)を与えられ、その後の大岡氏一族繁栄の基となりました。忠相公は8代将軍徳川吉宗公の厚い信任を受け、優れた行政手腕を発揮しました。晩年、額田郡西大平(現岡崎市大平町)に陣屋を置くなど、ゆかりが深いことから、昭和58年7月1日、ゆかりのまち提携の調印が行われました。



佐久市は、長野県佐久平の中央に位置し、八ヶ岳連峰と浅間山に囲まれ、千曲川が南北に貫流する豊かな自然と文化財に恵まれた高原都市です。

佐久市

奥殿藩主松平乗^{のりかた}謨公は奥殿にあった陣屋を田野口(現佐久市田口)に移し、龍岡藩を築きました。乗謨公は明治維新後、大給恒と改名し、賞勲局総裁に就任、現在の勲章制度の礎を築くとともに博愛社(現日本赤十字社)の創設にも尽力されました。その縁から、昭和58年7月1日、旧臼田町とゆかりのまち提携の調印が行われ、合併後の佐久市とは現在も交流が続いています。

関ヶ原町

関ヶ原町は、岐阜県の西端に位置し、北は伊吹山を主峰とする伊吹山地、南には鈴鹿山脈がせまる天険の地で、歴史と伝統の史跡に恵まれた町です。

慶長5年(1600年)に徳川家康公を総大将とする東軍と、石田三成公を中心とする西軍に分かれ行われた、天下分け目の戦いとして有名な「関ヶ原合戦」の地です。その戦いにより家康公がその後の覇権を決定的にし、徳川幕府260年の泰平の礎を築いたことから、家康公生誕の地である本市と、昭和58年7月1日、ゆかりのまち提携の調印が行われました。





親善都市

石垣市



天文台

九州・沖縄では最大の口径105cmの「むりかぶし望遠鏡」を備えています。北緯24度の石垣島では、12月末～6月末まで南の水平線の上に南十字星が見えます。

川平湾

黒蝶真珠の養殖で知られている川平湾一帯は、国の名勝に指定されている風光明媚な場所で日本百景にも選ばれています。



とうばら一ま大会

毎年、旧暦の8月13夜の名月の下に「とうばら一ま大会」が開催されます。「とうばら一ま」は八重山を代表する民謡の一つであり、その旋律、歌詞ともに情緒ゆたかな民謡として、広く愛唱されている無形の文化遺産です。



星空保護区

石垣市北部地域を含む西表石垣国立公園は国際ダークスカイ協会が認定する、暗くて美しい夜空を保護する「星空保護区」に2018年(平成30年)3月、日本で初めて認定されました。



石垣島まつり

石垣市最大のお祭りで、郷土芸能の夕べや市民大パレードなど多様な催しで開催中は島中が熱気に包まれます。



玉取崎展望台

石垣島の中ほどにある展望台です。古くから知られる景勝地で、美しいサンゴ礁群を見ることができます。



宮良殿内

宮良殿内は1819年、八重山頭職の宮良親雲上当演が建設したもので、国の重要文化財に指定されています。



平久保崎

石垣島の北端にある岬です。先端にある真白い平久保灯台が、碧い海と美しいコントラストを見せてくれます。日本ロマンチスト協会等により「恋する灯台」に認定されています。



パイナップル

熱帯の気候を活かして作られるパイナップルはとても甘く、お土産品としても喜ばれます。



石垣牛

温暖な気候と豊かな大地で肥育された石垣牛はとても味が良く、全国にその名が知られています。



八重山そば

コシのある細麺とダシのきいたスープに豚肉やかまぼこをトッピングするのが八重山そばの特徴です。

親善都市



福山市

鞆の浦

瀬戸内の中央に位置し、潮待ちの港として万葉の時代から栄えた鞆の浦。まちの中には歴史の表舞台となった旧跡や遺構、中世の面影がある近世の港町が残されています。2018年(平成30年)には、日本遺産「瀬戸の夕風が包む 国内唯一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～」として認定を受けました。



ばら公園

1956年(昭和31年)、戦後の復興への願いと希望を込め、付近の住民によって1,000本のばら苗が植えられたのが、ばら公園のはじまりです。シーズンには約15,000㎡の敷地に約280種類5,500本のばらが咲き誇り、訪れる人々を魅了します。「ばら」は1985年(昭和60年)4月1日に福山市の花に制定されました。

明王院

本堂は全体に和様、細部に唐様を用いた折衷様式で、この様式としては瀬戸内海地域で現存する最古の建物です。五重塔は全国の中でも5番目に古く、和様建築の美しい塔です。本堂、五重塔ともに国宝に指定されています。

福山ばら祭

約80万人が集う福山最大のイベント。ばら公園・緑町公園・中央公園を中心に音楽や踊り、大道芸など多彩な催しを繰り広げます。毎年5月開催のばら祭前後2週間は市の花である「ばら」が市内各地で美しく咲き誇ります。

対潮楼(福禅寺)

江戸時代に訪れた朝鮮通信使から「日東第一形勝」(対馬から江戸の間で最も眺めが良い)と称された鞆の浦の風景を楽しむことができます。



観光鯛網

鞆の浦で毎年5月に開催され、約380年前から伝わる伝統漁法で鯛を追い込む観光鯛網。観覧船から潮風を感じながら勇壮な海上絵巻を堪能できます。



福山城

1622年(元和8年)、徳川家康公の従弟にあたる水野勝成公が築城した福山城は、10万石の石高に対して破格の規模を誇っていました。天守閣が復元された今は福山の歴史を伝える博物館となっています。福山駅の新幹線ホームからは天守閣を間近に見ることができ、2022年に築城400年を迎える福山城は福山市のシンボルです。



松永下駄

松永の下駄は明治時代初期、塩田で塩を煮詰める薪を使って安価に作ったのが始まりです。「カラコロン」と鳴る音は松永独特のもので、現在も日本有数の生産量を誇っています。

保命酒

とろみがあり、シロップのような甘み特徴の保命酒。江戸時代初期、鞆の浦で地黄・桂皮など16種類の薬味を漬け込んでつくったものが始まりで、福山藩の御用酒として幕府へ献上されていました。幕末にはペリーや領事ハリスにもふるまわれたといわれています。



福山琴

福山での琴づくりは江戸時代から始まり、現在は全国生産量の約7割を生産しています。継承された職人技と音色の良さには定評があり、楽器として初めて国の伝統的工芸品に指定されました。



ゆかりのまち 茅ヶ崎市



茅ヶ崎サザンC

平成11年に茅ヶ崎海水浴場からサザンビーチがさきに改称し、海水浴シーズンにはたくさんの海水浴客で賑わいます。ビーチの一角にあるモニュメント「茅ヶ崎サザンC」は茅ヶ崎の頭文字のCを象ったビーチのシンボルで、別名「縁結びの輪」と呼ばれています。



大岡越前祭

江戸時代の名奉行・大岡越前守忠相公の遺徳を偲び始められた茅ヶ崎市最大のお祭りです。越前行列やビッグパレードをはじめ、多種多様なイベントが開催されます。

大岡越前守忠相公

忠相公の曾祖父忠政が家康公から相模国高座郡堤村(茅ヶ崎市堤)を与えられ、その後の大岡氏一族繁栄の基となりました。多年の功績により忠相公が72歳のとき加増され大名となり、西大平(岡崎市大平)に陣屋を置きました。



浄見寺

江戸時代の名奉行・大岡越前守忠相公ゆかりの寺として知られ、境内にある大岡家13代の墓所は茅ヶ崎市の史跡に指定されています。



うぼしま 姥島 (通称:えぼし岩)

茅ヶ崎海岸の沖合にある岩礁帯。その中の一つが、昔の貴族ががぶっている鳥帽子に形が似ていることから「えぼし岩」という名で親しまれています。



茅ヶ崎海岸浜降祭

市内各神社と隣町の寒川町の神輿が茅ヶ崎の海岸に一堂に会し、みそぎを行う祭礼です。毎年7月の海の日早晩に40基ほどの神輿がねり歩いて乱舞する姿は勇壮で、多数の見物客でにぎわいます。神奈川県無形民俗文化財に指定されています。



湘南の海

サーフィンに適した湘南のビーチには一年を通して多くのサーファーが訪れます。



しらす

茅ヶ崎名産のしらす、中でも「生しらす」は産地でなければ味わうことのできない逸品です。



たたみいわし

かつてはイグサの量表を使って干したのでその名が付いた「たたみいわし」。茅ヶ崎が発祥とも言われています。

地酒・地ビール

湘南の風土が生み出す、手作りの少量生産による良質なお酒と丹沢山系の伏流水のみを使用、無ろ過、非加熱処理で酵母が生きたフレッシュなビールです。





ゆかりのまち

佐久市



佐久バルーンフェスティバル

空気の澄んだ佐久市で行われる熱気球の大会です。「子供たちに感動を!!」のコンセプトのもと、熱気球だけでなく地元密着の各種体験イベントも開催されています。



臼田宇宙空間観測所

宇宙科学研究所のスペースセンターとして1984年(昭和59年)に設立されました。パラボラアンテナの直径64mは日本一と言われています。



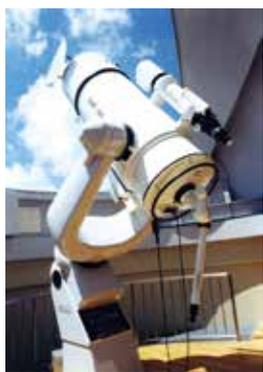
龍岡城五稜郭

老中を務めた松平乗謨公が築城したお城で、函館とともに日本で二つしかない星型の城郭です。



小満祭

五穀豊穡・商売繁盛を祈願し、臼田の中心街で行われるお祭りで、きつねの嫁入り道中など、多くの出し物で盛り上がります。



うすだスタードーム

口径60cmの大型望遠鏡を備えた天体観測施設です。佐久の美しい星空の下で見る宇宙は格別の世界です。



のりかた おぎゅうゆする 松平乗謨(大給恒)公

松平乗謨公は奥殿(岡崎市奥殿)にあった陣屋を田野口(佐久市田口)に移し、龍岡藩を築きました。明治維新後、大給恒と改名し、賞勲局総裁に就任、現在の勲章制度の礎を築くとともに、博愛社(現在の日本赤十字社)の創立にも尽力しました。

新海三社神社

新海三社神社は古くより佐久の総社と言われ、境内にある三重塔は国の重要文化財に指定されています。



鯉料理

佐久の気候、風土と千曲川の清冽な水が全国に誇る身の引き締まった鯉を育てあげています。



プルーン

佐久市は、サンプルーン栽培の発祥の地であり、甘みが強く美味しいと同時に鉄分が豊富な健康食品です。



りんご

佐久市はりんご栽培に適した気候で、とてもおいしいりんごが育ちます。



ゆかりのまち

関ヶ原町

決戦地

笹尾山(石田三成公陣跡)から目と鼻の先に決戦地の標柱があります。三成公の首をとるべく絶え間なく攻める東軍と、必死に応戦する西軍とが最後まで戦った合戦最大の激戦地でした。



不破関

壬申の乱の翌年、天武天皇はここに不破関をおき、天下の変乱に備えるとともに通行人たちを調べたといわれます。鈴鹿関、愛媛関とともに、日本三関の一つです。



関ヶ原町歴史民俗資料館

関ヶ原合戦の様子を詳細に描写した合戦図屏風をはじめ、甲冑や火縄銃、矢じりなどが展示されています。



関ヶ原合戦祭り

全国の関ヶ原ファン、戦国ファンが年に1度集う関ヶ原最大のイベント「関ヶ原合戦祭り」。メインイベント「関ヶ原合戦絵巻」は100名以上の甲冑武者が「関ヶ原の戦い」を再現します。

笹尾山(石田三成公陣跡)

西軍の石田三成公が本陣を置いたのが笹尾山です。現在、馬防柵が復元された山麓には島左近の陣跡があり、徒歩5分程度で登れる展望台からは三成公が見た景色を望むことができます。



桃配山 (徳川家康公最初の陣跡)

東軍の徳川家康公が関ヶ原合戦の際、3万の兵を率いて最初に陣を構えたのがこの桃配山です。



しょうぎば 床几場 (徳川家康公最後の陣跡)

徳川家康公は午前11時頃、桃配山からこのあたりに軍を進めました。最初の陣地では戦況がよくつかめなかったこと、あえて激戦地に近づくことで東軍の士気を高めたと言われています。



苺福(いちふく)

関ヶ原の冬の気候を利用し、省エネで作った甘くてシャキッとした大粒のいちごで、一度食べたら忘れられない、幸せな気持ちになれる味です。



関ヶ原のお茶

町内で生産された茶葉を地元の自家工場で製造しており、パッケージのデザインには合戦屏風を使用しています。

関ヶ原せんべい

厳選された素材に極上のこうじ味噌を配合して作られる関ヶ原せんべいは、香り高く、長年愛され続けています。



